

市民病院と済生会兵庫県病院

「再編統合で医師確保可能」

検討委、報告書案を提示



北神・三田地域の急性期医療の確保に向けた検討委員会が3日、神戸市内で開かれた。今回の最後の会合となり、三田市民病院と済生会兵庫県病院(神戸市北区)について「再編統合が最も望ましい」とする報告書案が示された。

北神・三田地域の急性期医療の確保に向けて議論した検討委員会＝神戸市中央区

委員は学識経験者や両病院長ら12人で構成し、昨年6月から議論を続けてきた。報告書案では、再編統合により医師の確保が可能となり、多くの需要に対応することで収益向上が見込まれるとした。先行事例の北播磨総合医療センターや加古川中央市民病院では収支が改善しているという。

現在、三田市民病院は300床、済生会兵庫県病院

は268床ある。統合後の病床数については400、450床を想定し、「500床は必要ない」とした。また、整備費を225億、320億円と試算。一定の条件を満たせば補助金が活用できるという。

獅子銀 陶の郷店
0795972173

立地は両病院の中間地点で、幹線道路に面し高速道路などにアクセスしやすい場所が望ましいとした。高齢化を考慮し、送迎バスの検討なども求めた。
三田市民病院の荒川創一院長は「医師確保のために

は医療者にとっても魅力的な『地域の基幹病院』になる必要がある」と発言。神戸大学医学部付属病院の眞庭謙昌院長は「地域の基幹病院と連携を深め、人材交流をしていきたい。北神・三田地域の基幹病院の設置

はわれわれにとっても非常に心強い」とした。住民代表の委員は「スピード感を持って対応してもらいたい」と要望した。
最終報告書は3月末に両市長に提出する。
(土井秀人)